

RHYTHM

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して日時を自動修正。
- 大音量のアラーム音。
- 2つのアラーム時刻を設定できます。

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みの
うえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管
して、必要に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1407)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店が
いたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、
ご利用ください。

- 修理部品の保有について
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、
3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなど
の外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交
換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有
期間中は、原則として有料での修理が可能です。た
だし、修理内容や送料により、修理代金が高額なる
場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられ
ない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証
期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室** (フリーダイヤル) **0120-557-005**
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ149」を
お伝えください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと
液晶表示可読温度	0～40℃
時間精度	電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒 (5～35℃のときクォーツ精度)
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 3個
電池寿命	約1年 アラームを音量大で30秒鳴らし、 照明を5秒点灯した場合 (1日当たり)
電池交換時期	電池マーク点灯
お知らせ機能	
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正
受信局	福島局 / 九州局自動選択
受信ON/OFF	あり
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の時間帯の16分40秒

アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らす
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	3種類の電子音(段階的に音量アップ)
音量調節	ロータリー式 最大約105dB (前面10cm)
スヌーズ機能	あり
オートストップ機能	あり
カレンダー	2013～2099年対応
時刻表示形式	12時間/24時間 選択式
照明	液晶表示部をLEDで照明
温度表示範囲	-9.9～50℃
温度の精度	±2℃ (表示範囲において)
湿度表示範囲	20～95%RH 温度が5～50℃のとき
湿度の精度	±10%RH (表示範囲において)
測定間隔	1分間隔

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。また、40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。常温になると正常に表示されます。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 電池 3個、保証書 1枚、取扱説明書 本書

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

図記号の説明

- は、禁止 (してはいけないこと) を示しています。
- は、指示する行為を必ずすることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

● **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
必ず守る
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**
禁止
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

● **電池から漏れた液に触れない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 液漏れしたときは、電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

● **電池の⊕⊖を正しく入れる**
必ず守る
逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

● **浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない**
さびの発生や故障の原因になります。

● **濡れた手で触らない**
故障の原因になります。

● **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

● **分解したり改造しない**
けがや故障の原因になります。

分解禁止

● **下記のような場所では使わない**
禁止
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 暖房機器からの風が直接当たる所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは

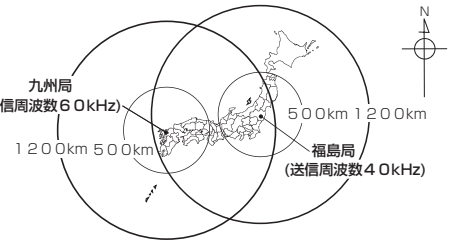
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは電池と本体を分別してください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

電池交換時期のお知らせ機能…………… 電池マーク 表示



電池の交換が必要になると、電池マークが表示されます。このマークが表示されたら、すべての電池を新しい電池に交換してください。

電池の確認は1時間に1回行います。

注意 電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

● **電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。**
必ず守る
● **電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**

- 液晶表示が薄くなった、表示が欠けた、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を指定と逆向きに入れない。

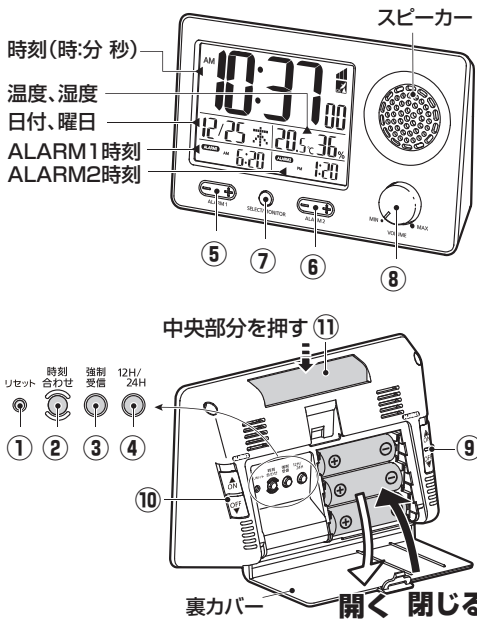
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

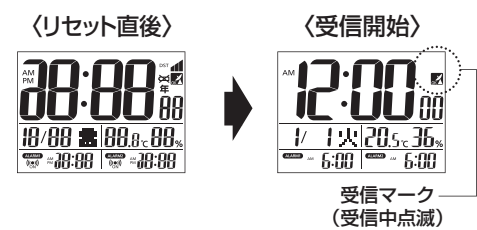


- ①リセット —— 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2013年1月1日午前12:00アラーム時刻午前6:00になります。
 - ②時刻合わせ —— 手動で日時に合わせるときに使用。
 - ③強制受信 —— すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
 - ④12H/24H —— 時刻表示形式を切り替えるときに押す。
 - ⑤ALARM1-/+(アラーム1-/+) —— アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
 - ⑥ALARM2-/+(アラーム2-/+) —— 使用。
 - ⑦MONITOR —— アラーム音の選択と試聴するときに押す。
 - ⑧VOLUME —— アラーム音量を調節するときに使用。
 - ⑨ALARM1 —— アラーム1のON/OFFスイッチ。
 - ⑩ALARM2 —— アラーム2のON/OFFスイッチ。
 - ⑪スヌーズ —— アラーム音の一時的停止。ライトボタン兼用。
- 裏カバーを開閉して電池のセット、ボタン操作をしてください。
△注意 必ず電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
 ※液晶の表示は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】



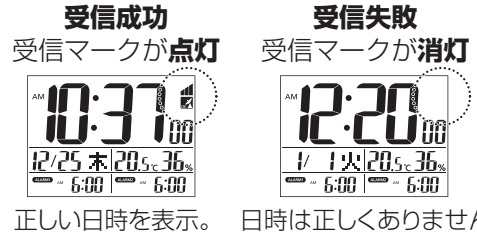
電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2013年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信中の受信マークの変化 (電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい

- ①
 - ②
 - ③
 - ④
- チェック!** 1~2分経過しても①や②の状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を開始させてください。

受信終了まで最長20分待つ (表示例)



標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くようにして、リセットボタンを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年、月、日、時刻(時・分)でのボタン操作
点滅している数値を+または-ボタンで合わせてから**時刻合わせボタン**を押すと数値を確定して次のステップに進みます。

ボタン 押してすぐ離す 押し続ける
+ 1つ進む 早送り
- 1つ戻る 早戻し

+、-ボタンは、ALARM1と2の両方を使用することができます。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

操作例 2014年12月25日 午前10:37に合わせる

- ①年 ①西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける
 - ②年 ②西暦年を合わせる
 - ③月 ③月を合わせる
 - ④日 ④日を合わせる
 - ⑤時 ⑤時を合わせる
12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)表示に注意してください。
 - ⑥分 ⑥分を合わせる
※時、分のときに+または-ボタンを押すと秒が00になります。
- 以上で設定は終わりです。

2 アラーム機能を使う

重要 アラームは非常に大きな音で鳴ります。次のことに注意してください。

- 耳の近くで鳴らしたり、大音量で長期間使い続けたりすると難聴などの聴覚障害になるおそれがあります。
- 建物の構造などにより室外に音が漏れることがあります。ご近所迷惑にならないように音量や置く場所などにご注意ください。

アラーム1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。

○アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。

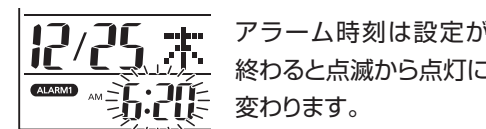
○アラーム1、2のアラーム音の種類と音量は同じ設定になります。

※アラーム状態(アラームが鳴っている、アラームマークが点滅している)のときはアラーム時刻を設定することはできません。アラームスイッチ1と2両方をOFFにしてから設定してください。

■アラーム1と2の設定手順は同じです。下記の説明はアラーム1の例です。設定するときは、アラーム1、2それぞれの+/-ボタン、アラームスイッチを使ってください。

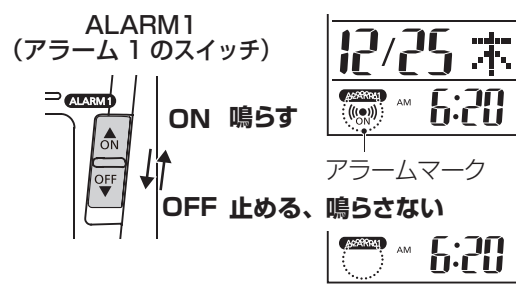
① アラーム時刻を合わせる

- ①+または-ボタンを押してすぐ離す
アラーム時刻が点滅します。
- ②+または-ボタンでアラーム時刻を合わせるボタン 押してすぐ離す 押し続ける
+ 1分進む 早送り
- 1分戻る 早戻し
- ③約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる



② アラームのON/OFF設定

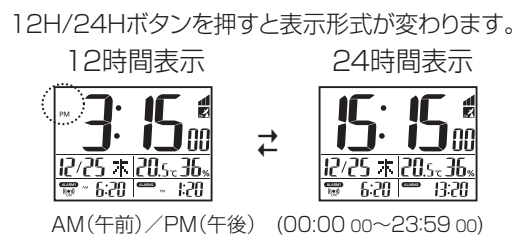
ONにするとアラームマークが点灯します。



アラームご使用上の注意

アラームスイッチをOFFにしないと毎日アラームが鳴ります。使用しないときは必ずOFFにしてください。

時刻表示形式の切り替え



次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

- 電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻、日時の設定中。
- ※アラーム状態とは、アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している状態。

温度・湿度表示について

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 測定する高さによっても、温湿度に違いが出ることがあります。
- ※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温	「LLL」-9.9℃より低温
湿度「HH」95%より多湿	「LL」20%未満 「--」測定不可

*湿度は温度が5~50℃のときに測定可能

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (時刻を標準電波で修正しない) **受信機能 ON (有効にして受信を開始する)**

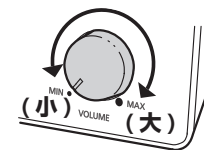
- リセットボタンを約1秒間隔で3回押しください。
- OFFになるとリセットボタンまたは強制受信ボタンを押しても受信マークを表示しません。
- 日時は手動で合わせてください。

※電池を抜いて回路内に電荷がなくなると受信機能がONになります。
※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

③ アラーム音の選択と音量の調節

必ず音量を「小」にしてからアラーム音の選択と音量の調節をしてください。

- アラーム音は3種類収録されています。
- モニターボタンを押している間、鳴り続けますのでボリュームで音量を調節してください。
- モニターボタンを押すたびに音が切り替わり、最後に試聴した音がアラーム時刻に鳴ります。



アラームの鳴り始めは小さく鳴り、段階的に大きくなります。ボリュームの位置により、鳴り始めの音量と最大音量は変わります。

最大音量は前面から10cmで約105dBです。
120dB 飛行機のエンジンの近く
音レベルの目安 110dB 自動車の警笛(前方2メートル)
100dB 電車が通るときのガード下

◎スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すと、アラームは止まり、アラームマークは点灯表示になります。

◎オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。

照明について

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約5秒間照明されます。照明の明るさは、段階的に暗くなり消灯します。照明をしたときは、時計上方より見てください。他の方向からは読み取れなくなります。明るい所では、照明の効果は確認できません。